

災害時多言語サポート 中国語講座 テキスト

2021年1月31日

☆ 意思表示を！- ジェスチャーや Zoom の機能
了解：両手を丸くする
賛成しない、同意しない：両手を交差する
質問がある場合 → チャットで送信／手を挙げる

PART 1. ウォーミングアップ

目的：用語に慣れ、ウォーミングアップ

1. トリビアクイズとスライド翻訳にチャレンジしましょう

トリビアクイズにジェスチャーで答えてください。

スライドを見て、内容を中国語で説明してください。

2. グループで、話してみましよう (10分)

- 日本語を話さない人をサポートする際や、コロナ禍の避難所運営のサポートではどのような点が大事だと思うかを中国語で話し合ってください。
- 緊急事態やその後、または新型コロナに関する状況で日本語を話さない人を手助けしたことはありますか。

グループでの話し合い内容を発表する発表者を決めておいてください。

3. 発表しましょう

グループでの話し合い内容を発表してください。

PART II. 書いて伝える

目的

- 文字で伝える際の簡単なコツを学ぶ
- 外国人の目線で、考える

1. 中国語を書いて伝えましょう

ポイント

- 簡易な中国語を使う
- 事実は正確に伝える
- 中国語で表現が浮かばない場合、漢字で書く

[例] (出典:「岩手県避難所運営マニュアル」)

豪雨時の屋外移動は車も含め危険です。やむを得ず車で移動する場合は、浸水や土砂災害など、周囲の状況を十分確認して、命を守るための最善の行動をとってください。



下大雨时屋外移动非常危险。不得已开车的情况下，请注意安全，保全生命。

練習問題 :

A. 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

B. マスク、ハンドソープ、消毒液、体温計、タオル、歯ブラシ等の衛生用品、常備薬、着替え、上履き（スリッパ等）、ビニール袋（ゴミ、外履き保管用）、筆記用具等を持参してください。

C. 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）あけ、密集が想定される共同空間（トイレ、シャワーなど）は時間をずらして利用するなど、各自で密を避ける行動を心がけましょう。

D. 熱中症に注意してください。のどの渇きを感じなくてもこまめに水分、塩分の補給を行い、通気性の良い衣服を着用してください。

2. 中国語の貼り紙を作ってみましょう

岩手県が作成した避難所のレイアウトを参考に、必要と思われる箇所に中国語の貼り紙や表示を付けてみましょう（配布資料参照）。

(1) この避難所は定員に達したため、受入れは終了しました。第一中学校に避難してください。

(2) （トイレにて）紙は流さず、備え付けのビニール袋に必ず入れるようにしてください。

(3) 咳エチケットを心がけましょう。

作成した表示をグループ内で比べ、改善の余地はないか、どうすれば外国人が使いやすい避難所にできるかを外国人の視点から話し合ってください。（10分）

PART III. 話して伝える

目的

- ひとりひとりが安全かつ健康でいられるように、正しく伝える（通訳する）方法を学ぶ

1. 健康チェックのロールプレイをしましょう

岩手県作成の配布資料「受付時健康状態チェックリスト」と「避難者健康チェックシート」を見て、質問事項を中国語でどう表現できるかを各自で考えてください。

二人一組になり、「受付時健康状態チェックリスト」と「避難者健康チェックシート」に基づいて互いに質問してください。

A サポーター（受付にて、「受付時健康状態チェックリスト」使用）：こんにちは。受付にあたり、健康状態についていくつかお尋ねします。何か不調がある場合に把握しておくためなのですが、回答は避難所のご利用に影響を与えるものではなく、どんな方でもご利用いただけますのでご安心ください。

C 避難者：いいですよ。

A サポーター：お名前と年齢をここに書いてください
では、・・・

〈健康チェック表に基づいて質問してください〉

サポーターと避難者の役割を交代

B サポーター（「避難者健康チェックシート」使用）：調子はいかがですか。健康で安全に過ごせるように、今日の体調についていくつかお尋ねします。

C 避難者：いいですよ。

B サポーター：今朝は検温しましたか？

〈健康チェック表に基づいて質問してください〉

2. 感想を共有し、質問事項を振り返りましょう

どのような点が難しかったですか。

このような質問をする際、どのような点が大切だと思いますか。

3. 講師と練習しましょう

PART IV. 問題解決

目的

- 自分の最善の判断で外国人をサポートする
- 外国人のニーズや問題に自分だけで応えられない場合に、担当職員や専門家の助言を求めて対応できるようにする

外国人が直面する問題の原因となりうるもの

- 日本語がわからないなど情報を取れないことによるもの
- 同様の災害に対する経験がないこと
- 恐怖、孤独
- 偏見・先入観、差別
- 文化の違い
- デマ、フェイクニュース

1. さまざまなシナリオで練習

シナリオ1 - 日本語がわからないなど情報不足の例

劉さんは日本語が分からず、避難所というのがどういう場所か、理解できていません。あなたは劉さんの知り合いで、電話をして、避難を促しました。しかし、劉さんはどういうわけか避難しようとしません。

彼の安全を守るために何とか説得してください

シナリオ 2 - 同様の災害に対する経験が不足している例

強い揺れを感じ、津波警報が届きました。友人の李さんは 8 歳の息子が心配で、学校に迎えに行きたいようです。

李さん：津波までどのくらい時間がありますか？子供を迎えに行かなきゃ。車で 10 分のところにいます。

あなた： …？

- 防災教訓に基づいて会話を続けてください。

シナリオ 3 - 恐怖、孤独の例

〈避難所にて〉

王さん：来る前に電話を失くしました。知り合いはいません。カナダの家族に連絡して、大丈夫だと伝えたいのだけど、連絡手段がありません。

あなた： …？

- 会話を続けてください。

シナリオ 4 - 偏見・先入観、差別の例

張さん：隣の男性が、自分とガールフレンドに静かにしろと失礼な言い方をしてくれます。ほかにも同じくらいの声で話している人はいるのに何も言われず、私たちだけ注意されるのはどうしてですか？

あなた： …？

- 会話を続けてください。